

## 用水ポンプ取水口の点検通路を改良



真夏を思わせるような強い日差しの中、作業は続く

で、それらを刈り取り、路盤を調整して設置しました。

これからは、天候にかかわりなく必要な時に安全に点検できるようにになります。

### 花壇の植え替え

景観形成のための花壇の植え替えをしました。今回植えたのはマリーゴールド2種類、メランポジウム、サルビアです。

役員が一週間ごとの当番で管理していきます。

### スポーツが心をつなぐ

小郡地区ソフトボール大会が7月12日に行われました。八方原チームはここ数年好成績を残していました。今回も是非にと張り切って試合に臨みましたが、3回戦で東津上チームに不覚を取りました。

しかし、試合の後の慰労会では多いに飲み、語り合いました。試合に勝つことも大事ですが、一致団結して取り組むことに意義があるのではないのでしょうか。

この大会のために、チームの練習を毎日曜日に行ってきました。スポーツを通して、仲間が増えていくことは大切なことです。

左の写真は慰労会の記念撮影です。みんなの笑顔がはじける、素晴らしい日曜日でした。



今回の慰労会は参加者が自分たちのためにやるというセルフサービス方式、全員で片付けた後に記念の一枚

八方原地区の農業生産の生命線は、椹野川から汲み上げる農業用水です。この椹野川に面した取水口にはいろいろなゴミが入り込むことがあり、その都度、係の者が除去しています。

しかし、その取水口へはきちんとした管理通路がないまま今まで来ていました。そこで河川管理者である山口土木事務所とも話し合い、管理通路を整備することにしました。

コンクリートの部分にはステップとなるプレートを取り付け、土の部分には階段状の鉄製通路を固定しました。周辺は竹や雑木に覆われていましたの

# 7.21 山口大水害 瞬時の豪雨

工場から出られなくなった従業員さんを救出する市消防レスキュー隊



た瞬間に流れは溢れ出し、誰にも止めることができない状態になってしまったのでした。

私たちはこれらを貴重な経験として今後の防災対策に活かしていく必要があります。桁違いの降水量をコントロールすることはできませんが、どのように被害を小さく止めることができるかを考えていくことが重要です。

すでに多くの場所で復旧作業が始まっています。すぐに全てが元に戻ることは無理ですが、緊急性の高いものから順次対処していくようになります。

7月21日の早朝からの雨は、昼前になって、一層激しさを増し、あつという間もなく、多くの家屋や工場を水浸しにしてしまいました。防府市では大惨事となり、十数名の尊い命が一瞬にして奪われてしまいました。何でそんなことになるのか、災害のニュースを聞くたびに思っていた方も少なくないと思います。しかし、この度の豪雨は、災害がいつどうやって襲いかかるのか、予測できないことを実感させてくれました。たった一本の流木が流れを引き止め

## 南の町の快適な暮らし

市からお帰りなさい

赤道に近い暑い国での暮らしは大変ではなかったですか——私たちが住んでいた場所だけでは無いと思います。が、まちは清潔で建物の中は空調設備が整い、快適でした。住宅の周りの雑草取りも必要ないくらいでした。もうすっかり現地に馴染んでしまつて帰りたいなくなつたのではありませんか——一年中何かのお祭りが続いていて、華やかで楽しい

## 八方原消防組 防災活動に活躍

地区内の水路にはたくさん土砂が溜まりました。高山造庭園さんの東側の水路も21日の豪雨以来、ずっと溢れ出しました。26日の午後、八方原消防組の緊急出動があり、水路の中の障害物をできるだけ取り除く作業を行いました。約1時間



の作業で溢れ出していた水流は水路の中で収まるようになりました。場所が狭いので建設機械の使用が難しいこともあり人海戦術となりましたが、非常に効果的な作業ができました。杉山組頭は「消防組では危険箇所数カ所に土嚢40個を配備しました。またこうして水路の泥上げなど、天候と相談しながらだけでも、ある程度はできました」と語ってくれました。八方原消防組、ご苦勞様でした。



現地のお友達と魚釣りも楽しみました

ことばかりでしたね。人々はとてもおらかでゆったりと暮らしていました。なんだか日本の方が暮らしにくいのではないかしらと思えるほどでした。現地のお友達や友人の方とは交流が続いていますか。——実は来年の春には何人かがこちらにやってくることになっています。その時には皆さんで温かく歓迎してやってくださいませ。そりや素晴らしい。大歓迎ですよ。このシリーズ終わり